



今回は、地域研究部の活動報告です。

◇ 第12回全国高校生歴史フォーラムで、優秀賞・学長賞を受賞しました！

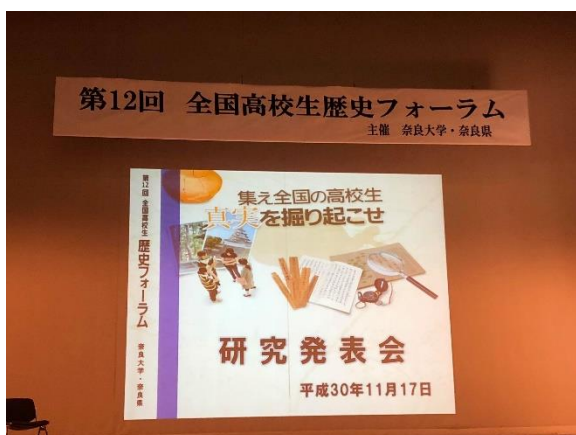
日時：平成30年11月17日 会場：奈良大学
主催：奈良大学 奈良県 発表者：片桐昂大 江崎晃定（地域研究部2年）

全国高校生歴史フォーラムは、歴史、地理、史跡、文化財、文学、人物などに関わる探究活動の成果をレポートにまとめ競うコンテストです。今回、関高校地域研究部は、岐阜県出身の歴史家、渡辺三三の研究活動やその近代史的意義を考察した成果をレポートにまとめ、コンテストに応募しました（「渡辺三三の撫順史研究 植民地支配と歴史学」）。

結果、応募総数73作品のうちの優秀賞（上位5作品）に選ばれ、さらに11月17日に奈良大学で行われたプレゼン大会では、学術性の高さが評価され、奈良大学学長賞を受賞しました。

表彰式終了後、発表者の片桐昂大君は、「近現代史に関心があり、旧満州の植民地統治に興味を持った。歴史の暗部に焦点をあててみたかった」、江崎晃定君は「他校の生徒の優れた研究に刺激を受けた。緊張しながらも自分たちの研究成果をしっかりと伝えられた」と感想を述べていました。

翌日は、奈良大学の関根俊一教授（副学長、美術史）、土平博教授（歴史地理学）のご案内によるフィールドワークに参加しました。東大寺、興福寺、元興寺、さらに奈良町界限を、専門家による丁寧な説明を聞きながら見学することができました。



◇ 全国高等学校総合文化祭岐阜県大会地域研究部門で優秀賞を受賞しました！

日時：平成30年10月14日（日） 会場：瑞穂市総合センター
主催：岐阜県高等学校文化連盟 発表者：梅田拓海（地域研究部2年）

この1年、地域研究部は、県内に保管されていた旧満州の歴史に関わる文化財（考古遺物・写真・書籍等）の史的価値を明らかにするとともに、その保全や活用につなげる実践的活動を行いました（SGH情報24・37号）。

「よみがえる渡辺三三旧蔵資料」と題した研究成果に関しては、日本考古学協会総会高校生ポスターセッションや、全国高等学校歴史学フォーラム（九州国立博物館）、岐阜県社会科作品展で発表したほか、岐阜県博物館や岐阜県図書館で特別展示や公開講座を実施し、研究成果の普及活動に努めました。

10月14日、瑞穂市総合センターで行われた全国高等学校総合文化祭岐阜県大会地域研究部門発表会では、今までに発表した研究内容をさらに深め、ポスター2枚にまとめて発表しました。結果、優秀賞を受賞し、次年度、佐賀県で行われる全国高等学校総合文化祭に、岐阜県代表として参加することになりました。

